今後の日程

(10月)

11　中央執行委員会、中央委員会、全国労働政策運動部長会議　(東京)
13　子どもの貧困学習会(同和企業センター)
17　ランチタイムデモ
　(和歌山市役所～京橋プロムナード)
　狭山学習会(芦原・杭ノ瀬・本渡・海南)
18～20　部落解放研究第50回全国集会(奈良市)
19　ふれあい人権フェスタ2016
　第2回全体会議(ビッグ愛)
19　芦原支部女性定期大会(芦原文化会館)
21　狭山ビラ統一行動
狭山学習会(平井・善明寺・山口・弘西)
25　差別事件報告集会・湯浅(湯浅町総合センター)
27　部落解放・人権政策確立要求第2次中央集会、高裁・高検への要請行動、狭山事件の再審を求める市民集会(東京)
30　第6回和歌山の部落女性の実態調査ワーキング部会会議
31　教宣部会議、事務局会議

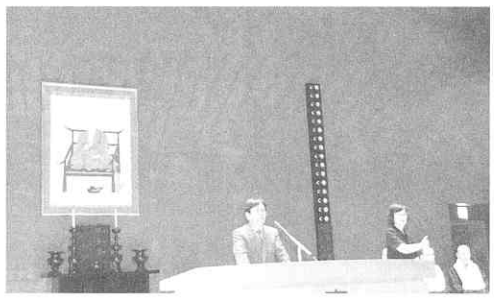
◆各市町村交渉
21　岩出市
24　田辺市

◆マイナンバー申請
11　鳴神
16　予備日

荘厳な地、高野山で
夏期講座

第47回部落解放・人権夏期講座を8月22日から24日、高野山大学・松下講堂黎明館を主会場にひらき、全国から1200人あまりが参加した。

今回は「全国人権フォーラム・人権を巡る旅・高野山と真田幸村」との共同開催となっている。参加者は3日間、部落、障害者、沖縄、難民問題をはじめ、LGBT、依存症、合理的配慮など、さまざまな人権問題を学習した。今年から、公民館は廃止され、高野山大学体育館と黎明館でひらかれた。


全国人権フォーラムとして
あいさつする藤本哲史・執行委員長

長崎「全女」を総括
全国女性運動部長会議

山崎鈴子・中央女性運動部長は、3月の全国大会で「男女平等社会実現基本方針(第2次改訂)」が承認され、浸透してきている。和歌山県が主体となってすすめている「部落差別の解消の推進に関する法律」には、実態調査の実施が明記されている。狭山について『解放新聞』号外が発行され、石川さん宅で発見された万年筆は被害者のものではなかったということが新証拠として提出されたことなどが報告された。

協議事項では、各都府県連からの長崎「全女」の総括が報告された。熊本県連からは、地震発生後の開催であり、不安のなかで参加したこと、長崎からは多くの参加者で成功裏に終えたことのお礼が報告された。和歌山からは、事前学習会をひらき、準備をして参加したこと、前日に長崎入りし、平和フィールドワークをしたことを報告した。

学習会は「〝女性差別撤廃条約〟と日本政府報告書審査のロビーイングに参加して」と題し、山崎部長が講演した。「女性差別撤廃条約」を日本が批准したことにより、国籍法の改善や男女雇用機会均等法、家庭科の男女共修など、男女平等に向けた動きになったこと。2月にジュネーブでひらかれた女性差別撤廃条約審議員会で、審議委員に部落女性の実態について訴えたことなどを学習した。

中央福祉学校の内容を検討
全国生活福祉運動部長会議

第73期生活福祉運動部長会議を9月2日、ホテル大阪ベイタワーでひらかれ、15人が参加した。

はじめに、山崎鈴子・部長からあいさつがあり、運動方針、部員体制の確認、名古屋市でひらかれる第23回中央福祉学校の内容について議論した。中央福祉学校について、1日目の夜に交流会ができないか、ワークショップなどを検討してほしいと意見がだされた。厚生労働省交渉の要求項目の確認では、17年に生見直される活困窮者自立支援法の方向、隣保館との連けい、子どもの貧困対策の進捗状況、介護保険について提案された。谷川雅彦・副部長は「いただいた意見を部長と相談し、可能な限り反映させたい」と閉会あいさつした。

「全国女性集会」感想文
山本はつ美(善明寺)

①フィールドワークでは、最後までついていけるか心配していましたが、要所要所で丁ねいな説明があり、悲しくなったり腹が立ったりして最後は資料館でゆっくり見学出来たのでとても有意義な一日となりました。防空壕のなかでの絵と文。水を呑ませた少女。頭蓋骨がくっついた鉄かぶと。原爆手帳をもらわない辛さ。後遺症に苦しみ家族一人また一人と亡くしていく寂しさと悲しさ。家族を焼く気持ち。等々夢にみるのではないかと恐ろしくなり「長崎を最後の捕縛地に!」という言葉が身にしみこの様な戦争の残酷さを伝えていかなければと強く思いとても勉強になった。フィールドワークで本当に参加してよかったと思いました。

②講演は全体的に難しいナーと思いましたが、戸籍制度が差別を生んでいること。人権を踏みにじられた苦しさを高く揚げて深く学び皆で実践していく事が大切だという言葉は理解出来て、若い世代に差別を無くす運動を引き継ぐ努力をしていかなくてはと学びました。

熊本地震によるカンパで約60万集まったと聞いた時「なかま」という言葉が胸にひびきました。私達は「応援してるよ、元気出してね」とエールをおくり熊本支部の方は壇上から黄色いゼッケンの大勢のなかまの姿を見てとても感動したと思います。「本当に有りがとう」と涙ながらにお礼を言いお互いに暖かい心になりました。苦しみを知っている「なかま同志」だと感じました。

③識字活動の分科会に参加

参加者は少なく学級運営をしていく為、絵てがみでカレンダーを作って販売し、自主財源づくりをしている支部もありました。又、地域の食文化の紹介として、サイボシやサエボシの作り方、食べ方ナド質疑応答があったり、結婚の時に唄う荷入れのめでたい唄を皆でうたったりして、識字は識地でもあるんだと改めて感じました。現在では、いろいろな取組みがされてますが、識字は生きる力となり「解放運動の原点」という事を自覚し、方向づけてしていく事が大切だと思いました。

(人権、尊厳、展望)

フィールドワークする山本さん

各支部で大会ひらく

●**岩橋支部**の定期大会が9月25日、岩橋文化会館でひらかれた。役員はつぎのとおり。

支部長　福島　隆志

支局からのお知らせ

お気軽にお電話を!

和歌山支局では、各支部でのとりくみを積極的に紹介していきたいと思います。支部活動や子ども会活動など、支局までお知らせいただければ、取材に走ります。もちろん、投稿記事も大歓迎! 写真を添えて支局までお送り下さい。

(発送先)〒640-8314
和歌山市神前405-3
部落解放同盟県連合会内
解放新聞和歌山支局宛